

瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議次第

日時 平成 30 年 7 月 4 日（水）

午前 10 時～正午（予定）

場所 瀬戸内市役所 2 階 大会議室

1 開会

2 委員委嘱

3 あいさつ

4 議事

○平成 29 年度地方創生関連事業の効果検証について 資料 1、資料 2

○地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について 資料 3-1、資料 3-2

○瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略における K P I の状況について 資料 4

○その他地方創生関連の取組紹介

5 閉会

瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議委員(平成 30 年度)

区分	氏名	所属等
産業	元浜 詳一	瀬戸内市商工会 会長
	石田 一成	瀬戸内市観光協会 会長
	岩谷 秀樹	岡山市農業協同組合瀬戸内営農センター センター長
官公庁	竹田 人士	岡山県備前県民局 地域づくり推進課長
学校	加藤 友佳	岡山商科大学法学部 准教授
金融	梶野 英彦	中国銀行 邑久支店 支店長
労働	伊丹 貞男	連合岡山 岡山地区連合会 事務局長
言論	岡山 一郎	株式会社山陽新聞社 編集委員室長
NPO 等	今井 悟史	公益財団法人みんなでつくる財団おかやま 事務局長
子育て	上野 洋子	瀬戸内市主任児童委員

地方創生推進交付金活用事業

資料1

事業番号	1	実施年度	H29	検証時期	H30. 7
事業名	仕事づくりを核とした移住・まちづくり連携事業		担当課	企画振興課	
事業概要・目的	<p>瀬戸内市における転出者は増加傾向にあり、「働く場所がない」ことを理由とした若年層の再転入の少なさがその大きな要因であることから、地域資源を活かした新たな雇用の創出が求められている。他方、本市のイメージについてのアンケート結果によると「自然環境の豊かさ」、「住環境のよさ」の満足度が高い。そこで、課題を解消して強みを活かす事業を実施し、基幹産業従事者の増加につなげる。</p> <p>本事業はしごとに対する支援、居住環境に対する支援、ホスピタリティ向上の3つを柱として、地方創生推進交付金を活用し、平成28年度から3年間事業を実施することとしている。</p>				
実施事業内容	<p>【しごとに対する支援】 <テレワーク支援事業> ○既提携企業との連携事業及び新規企業受入による実証実験事業を行い、働く場所や時間の制約を受けやすい育児や介護中の市民を対象に、テレワークを体験する機会を提供するためのセミナーや能力向上のための講習会等を実施し、テレワークの普及を行った。 ・テレワーカー数：延べ23人（既テレワーカー5人含む） ・セミナー等開催経費：2,068,060円 参加者数：セミナー：26人／講習会：23人（既テレワーカー2人含む）</p> <p>【居住環境に対する支援】 <移住PR動画上映事業> ○平成27年度に制作した移住PR動画を大都市圏内の映画館で放映し、市の魅力や暮らしやすさについて広く情報発信を行った。 ・大都市圏の都心ターミナルエリアにある年間観客動員数100万人規模の8劇場（東京：TOHOシネマズ日本橋、新宿バルト9、池袋HUMAXシネマズ、TOHOシネマズ渋谷、109シネマズ二子玉川、T・ジョイPRINCE品川、大阪：TOHOシネマズ梅田、TOHOシネマズなんば）にて、1週間上映した。 ・上映回数270回／総動員11,115人 ・各劇場1週間のシネアド上映料、その他上映関連費用：2,570,400円</p> <p><移住・交流体験ツアー実施事業> ○市が委嘱した瀬戸内市IJUコンシェルジュ、先輩移住者と協働して、移住希望者に対して、地域環境や住居、地域資源の紹介など暮らしに関するPR、お試し暮らしを体験する機会の提供等を行い、市の魅力及び受入体制等について情報提供した。 ・開催回数：2回（平成29年11月、平成30年3月） ・参加者数：13組20人 ・開催経費：693,940円 平成29年11月：ツアー委託料273,460円、チラシデザイン料54,000円 平成30年3月：ツアー委託料344,880円、チラシデザイン料21,600円</p> <p><協働の空き家活用補助事業> ○市が委嘱した瀬戸内市IJUコンシェルジュが、移住等支援の一環として行った空き家の所有者又は購入者、あるいは借受人が行う空き家の家財整理や改修に係る支援事業に対して、補助金を交付した。（1/2以内、50万円を上限） ・牛窓しおまち唐琴通りの保存と活性化プロジェクト 空き家活用件数：2件／受入者数：2世帯4人／補助金額：694,000円 ・裳掛地区コミュニティ協議会 空き家活用件数：1件／受入者数：1世帯2人／補助金額：500,000円</p>				

<p>実施事業内容 (つづき)</p>	<p><協働の移住推進体制整備モデル事業> ○市と地域が協働して移住者の受入体制を整備するため、IJUコンシェルジュが行う体験住宅（移住希望者と地域住民の交流空間並びに移住希望者が一定期間居住して当該地域での生活を体験するために必要となる専用の炊事場、浴室、便所、家具、電化製品等を備えた住宅）の整備に対して補助金を交付した。 ・牛窓しおまち唐琴通りの保存と活性化プロジェクト 改修工事費、PR費：3,000,000円 ・本庄地区むらづくり協議会 家財整理及び清掃、改修工事費・PR費：3,000,000円</p> <p>【しごと・居住環境の基盤構築、魅力向上】 ○地方創生拠点施設となる旧牛窓診療所内の設備・備品等不要品の撤去処分を行い、民間事業者の受入準備を行った。 ・施設不要品撤去処分経費：885,600円</p> <p>【ホスピタリティの向上】 ○シビックプライドを醸成するため、小学校で活用していただくための資料を作成した。併せて、高校生が市内の様子を知ることができる機会を設けた。 ・社会科副教材作成費：1,250,000円 ・県立邑久高校生徒の市内施設見学に係るバス借上料：203,040円</p>																			
<p>事業実績額</p>	<p>14,864,960円（うち地方創生推進交付金7,432,480円）※補助率1/2</p>																			
<p>重要業績 評価指数 (KPI)</p>	<p>市民一人当たりの税収額（個人市民税総額／市の総人口）（単位：千円）</p> <table border="1" data-bbox="527 1234 1969 1501"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度 (基準)</th> <th>H28年度増加分 (1年目)</th> <th>H29年度増加分 (2年目)</th> <th>H30年度増加分 (3年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>0.80 (41.70)</td> <td>0.90 (42.60)</td> <td>1.30 (43.90)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>40.90</td> <td>-0.08 (40.82)</td> <td>0.80 (41.62)</td> <td>未</td> </tr> </tbody> </table>						H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)	目標		0.80 (41.70)	0.90 (42.60)	1.30 (43.90)	実績	40.90	-0.08 (40.82)	0.80 (41.62)	未
	H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)																
目標		0.80 (41.70)	0.90 (42.60)	1.30 (43.90)																
実績	40.90	-0.08 (40.82)	0.80 (41.62)	未																
<p>重要業績 評価指数 (KPI)</p>	<p>社会増減増加数（20歳から39歳まで） 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="527 1590 1969 1857"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度 (基準)</th> <th>H28年度増加分 (1年目)</th> <th>H29年度増加分 (2年目)</th> <th>H30年度増加分 (3年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>未</td> </tr> </tbody> </table>						H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)	目標		16	16	16	実績	—	14	18	未
	H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)																
目標		16	16	16																
実績	—	14	18	未																
<p>今後の課題 と方針</p>	<p>移住者の受入体制については、本事業によってIJUコンシェルジュが運営するお試し住宅が整備されるなど地域支援の範囲が広がり、充実強化が進んでいる。移住者を円滑かつ柔軟に受け入れるには、地域による主体的な取組が不可欠であることから、意欲の維持向上を図るためにも、行政による情報発信や協働の取組みの継続が必要である。</p> <p>テレワークについては、定着を図る上で、テレワーカーの育成が必要であり、講習会開催のほかに、テレワーカー同士が相互にサポートし合い、成長できる体制が必要である。そのため、テレワーカー同士が交流できる場所の確保や、個々のテレワーカーを支援する地元人材の確保が今後課題となってくるため、当該課題の解決に資する取組みの検討が必要となる。</p> <p>取組みによって選択肢が広がった仕事と移住・定住の両面の基盤を生かして、市民の定住や移住希望者、ITを利用して支社等を設置する「サテライトオフィス」のような企業の参入など、広範な視点で移住・定住施策を進めていく。</p>																			
<p>今後実施予定 の主な事業</p>	<p>【平成30年度】 ・テレワーク推進事業 ・協働の空き家活用補助事業</p>																			
<p>委員意見 ・評価等</p>	<p></p>																			

地方創生拠点整備交付金事業

資料2

事業番号	1	実施年度	H29	検証時期	H30. 7
事業名	地方創生・瀬戸内Re. イノベーションハウス整備事業		担当課		企画振興課
事業概要 ・目的	<p>本市における転出者は増加傾向にあり、「働く場所がない」ことを理由とした若年層の再転入の少なさがその大きな理由であることから、地域資源を活かした新たな雇用の創出が求められている。そこで、仕事・雇用環境の向上及び再構築を図るため、「仕事・雇用創出及び所得増加」「地方創生人材の発掘・育成」「交流人口、UIJターン者増」「賑わい創出」といった効果を生み出すため、地域内外のまち・ひと・しごとが交流する地方創生拠点施設を官民協働で整備することで、若年層にとって魅力的かつ暮らしやすい生活基盤の構築につなげる。</p>				
実施事業 内容	<p>市有財産「旧牛窓診療所」を目的達成に資する施設として、また市内全体のしごと創生の拠点とするため、官民が役割分担して施設を整備する。 市は、当該施設を事業の目的に沿って運営する民間事業者の受入態勢を整備するため、旧牛窓診療所の耐震補強、防水改修工事及び当該工事に係る耐震診断、劣化度調査、設計監理業務を実施した。</p> <p>○耐震診断業務 ・旧耐震基準の旧館部分（昭和40年建築、1,811㎡）耐震診断を実施した。 ・耐震診断経費：2,786,400円</p> <p>○設計監理業務 ・耐震診断結果に基づく旧館の耐震補強等の耐震化工事、旧館及び新館の防水改修工事、劣化度調査及び当該調査結果により再利用不可と判断された電気・機械設備の撤去工事に係る設計業務を実施 ・改修工事の監理業務を実施 ・設計監理業務経費：6,804,000円</p> <p>○改修工事 ・旧館の柱巻きたて補強、耐震スリット、1階、2階の間仕切り壁の撤去など耐震補強及び耐震関連工事、旧館、新館屋上部の防水改修工事、電気・機械設備の撤去及び当該設備を撤去するための天井材の撤去工事、床タイル撤去工事を実施 ・改修工事経費：96,649,200円</p>				

事業実績額	106,239,600円（うち地方創生拠点整備交付金53,119,789円）※補助率1/2						
重要業績 評価指数 (KPI)	市民一人当たりの税収額（個人市民税総額／市の総人口）（単位：千円）						
		H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)	H31年度増加分 (4年目)	H32年度増加分 (5年目)
	目標		0.80 (41.70)	0.90 (42.60)	1.30 (43.90)	1.30 (45.20)	1.40 (46.60)
	実績	40.90	-0.08 (40.82)	0.80 (41.62)	未	未	未
重要業績 評価指数 (KPI)	本施設の利用者数（単位：人）						
		H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)	H31年度増加分 (4年目)	H32年度増加分 (5年目)
	目標		0	0	5,000	1,000	1,000
	実績	—	0	0	未	未	未
重要業績 評価指数 (KPI)	社会増減増加数（20歳から39歳まで） 単位：人						
		H27年度 (基準)	H28年度増加分 (1年目)	H29年度増加分 (2年目)	H30年度増加分 (3年目)	H31年度増加分 (4年目)	H32年度増加分 (5年目)
	目標		16	16	16	16	16
	実績	—	14	18	未	未	未
今後の課題 と方針	<p>本事業と関連して、民間事業者から施設活用に際してのニーズを事前に確認するサウンディング調査及び市民を交えて活用の可能性を考えるイベントを実施した。そこで、建物単体でなく、エリアの活性化に貢献する施設である必要性を確認した。</p> <p>当該事業で民間事業者を受入態勢が整備されたため、平成30年9月に、地方創生及びエリアの活性化に資する事業を行う施設として、当該施設の運営事業者の公募を開始し、年度内の事業者選定を目指す。</p>						
今後実施予定 の主な事業	<p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生拠点施設運営事業者募集事業 ・まちなか再生支援事業（牛窓地区エリア） 						
委員意見 ・評価等							

事業番号	1	実施年度	H29	検証時期	H30.7
事業名	瀬戸内市JR駅前等整備プロジェクト事業			担当課	建設課
事業の概要 ・目的	<p>市民をはじめ、ビジネス・観光等を目的に市を訪れる者にとって、主要な公共交通手段であり、また、玄関口となるのが、JR赤穂線の大富駅をはじめとする市内3つの駅である。これらの駅において、それぞれの駅周辺にて駅前広場、公衆トイレの整備等を行う。</p> <p>○大富駅、邑久駅、長船駅における駅前広場、公衆トイレ、駐輪場の整備 ○邑久駅、長船駅における観光案内施設、パークアンドライド駐車場の整備</p>				
寄付企業数 及び寄付額	6,600,000円 (6社)				
事業始期	H29.3		事業終期	H32.3	
主要KPI	JR3駅乗車人員				
KPI設定根拠	平成27年度の年平均の駅乗車人員をJRから提供していただき指標とした。				
指標値(単位)	目標年月		実績値(単位)	計測時期	
3,100(人)	H32.3		3,191(人)	H30.3	
担当課評価	実績値の計算方法 ・今後の測定方法		その他KPIの指標値・実績値/ 予算額と決算額の間差額が生じた理由		
1 非常に効果的であった ② 相当程度効果があった 3 効果があった 4 効果がなかった	JRからのヒアリング及び朝ピーク時間の現地調査		朝ピーク時間の乗降者数 2,100人(指標値) 2,151人(実績値)		
効果発現要因 (総合所見)	駅前整備等の設計中であり、工事未着手であるため、効果発現はまだである。				
課題	早期に地元説明と工事着手を行う。				
今後の展開	今年度工事着手の予定。				

事業番号	2	実施年度	H29	検証時期	H30.7
事業名	夢二のふるさと芸術交流プロジェクト			担当課	中央公民館
事業の概要・目的	本市出身の「竹久夢二」と「音楽」とを結び付け、芸術分野のコンクールやコンサート等を実施するとともに、関連する観光資源の魅力を向上させるような取組や、市民と市との協働による芸術文化を生かしたまちづくりを進める。夢二の知名度を活かし、今まで本市を訪れたことのない人々を呼び込んで交流人口の増加を図る。夢二を通して郷土の偉人に対するシビックプライド(市への誇り・愛着)を醸成する。				
寄付企業名及び寄付額	3,000,000円(1社)				
事業始期	H29.4		事業終期	H32.3	
主要KPI	本事業に係るコンクール・コンサート参加者数				
KPI設定根拠	コンクール・コンサートへの参加者数により芸術文化・音楽による活力あるまちづくりを進めることができたかの指標とする。				
指標値(単位)	目標年月		実績値(単位)	計測時期	
初年度4,375人 2年目4,875人 3年目5,375人	H32.3		6,065人	H30.3	
担当課評価	実績値の計算方法・今後の測定方法		その他KPIの指標値・実績値／予算額と決算額の間には差額が生じた理由		
1 非常に効果的であった 2 相当程度効果があった ③ 効果があった 4 効果がなかった	コンクール・コンサートへの来場・応募者数		コンクール・コンサートへの参加者数のほか、本事業関連施設の入場者数(市内4施設)の増加を指標値とし、目標値96,000人としたが実績値72,695人となり目標値を下回った。理由として、基準とした28年度に博物館において特別展「薄桜鬼刀剣録」の展示で通常から約2万人多い来館者があったため。		
効果発現要因(総合所見)	プレミアムコンサートでは、幅広いジャンルの演奏を聴きに市内外から多くの来場者が訪れた。また市内の小中学校や高齢者施設等への訪問コンサートを実施するなど、広く市民が音楽に触れる機会を増やし、総集客数は6千人を超えた。さらに市民団体等の協力を得て公民館ロビーコンサートや夢二の展示などを実施し、市民との協働により芸術文化を活かしたまちづくりを進めた。また、コンクールへは全国から応募があり、市内外に郷土の偉人・竹久夢二をアピールする機会となった。				
課題	初年度は音楽事業が中心となり、音楽以外の文化分野全体を盛り上げる取り組みが希薄であった。また、市民協働事業であるが、広く市民を巻き込む仕組みの構築が十分ではなかった。また、本事業により市内の関連施設に多くの人々を呼びこみ、市内施設の回遊性を向上させる仕組みの構築に向けての施策が十分ではなかった。				
今後の展開	初年度の取り組みに加え、実行委員会企画に市民枠を設け、書道・写真など音楽を核に分野を広げて市民とともにプロジェクトを盛り上げ、昨年の6千人を上回る参加を目標にさらに芸術文化を通じた活力あるまちづくりを目指す。また、夢二の知名度を活かし観光客を呼び込み市内本事業関連施設の回遊性の向上につなげることを目指す。				

○瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略 数値目標及びKPI一覧

資料4

	指標名称	担当課	取得方法	基準値 (策定時)	H30.3現在 (H29年度実績)	目標値 (平成31年度)
1	市内事業所就業者数	企画振興課	経済センサス (RESAS)	13,626人(H24)	13,969人(H28)	14,000人
	創業塾から生まれた創業者数	商工観光課	担当課調査	-	10人	20人(累計)
	ブランド認定商品数	農林水産課	担当課調査	12品(H26)	29品(累計)	22品(累計)
	創業塾参加者数	商工観光課	担当課調査	-	14人	15人(年間)
	創業相談件数	商工観光課	担当課調査	-	33人	30件(年間)
	工業団地分譲割合(市営)	商工観光課	担当課調査	51%(H26)	66%	100%
	新規就業者数(農業・漁業)	農林水産課	担当課調査	6人(年間)	9人(年間)	6人(年間)
	商工業者が意欲的に事業に取り組んでいると感じる市民の割合	企画振興課	市民まちづくり 意識調査	22.8%(H26)	【参考】25.7%(H.30)	32.8%
	おかやま子育て応援宣言企業の登録数	企画振興課	岡山県HP	7(H26)	11	9
	テレワーク実証事業実施人数	企画振興課	担当課調査	-	23人(累計)	20人(累計)
2	社会動態増減数	企画振興課	統計	-275人(H27推計値)	242人 (H27国勢調査)	-68人
	市内関連施設観光客入込数	商工観光課	担当課調査	100,355人(H26)	72,366人	105,000人
	瀬戸内市を誇りに思う市民の割合	企画振興課	市民まちづくり 意識調査	43.8%(H26)	【参考】53.7%(H30)	53.8%
	瀬戸内市に愛着がある市民の割合	企画振興課	市民まちづくり 意識調査	79.8%(H26)	【参考】82.4%(H30)	89.8%
	県外相談会における相談件数	企画振興課	担当課調査	91件(H26)	92件	100件
	移住者数(相談会参加者)	企画振興課	担当課調査	1人(H26)	4人	5人(年間)
	移住HP閲覧数	企画振興課	担当課調査	25,000(H26推計値)	23,612	30,000(年間)
	瀬戸内市を住みやすいと感じる市民の割合	企画振興課	市民まちづくり 意識調査	66.7%(H26)	【参考】78.7%(H30)	76.7%
	市観光HP閲覧数	商工観光課	担当課調査	73,000(H26推計値)	94,393	77,000(年間)
	にぎわいと活気のある観光のまちであると感じる市民の割合	企画振興課	市民まちづくり 意識調査	23.0%(H26)	【参考】22.9%(H30)	33%
作成した周遊ルート数	商工観光課	担当課調査	6ルート(H26)	13ルート(累計)	21ルート(累計)	
3	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思う市民の割合	企画振興課	市民まちづくり 意識調査	51.2%(H26)	【参考】60.8%(H30)	61.20%
	合計特殊出生率	企画振興課	岡山県統計調査	1.34(H27推計値)	1.40(H28)	1.44
	20歳から39歳の社会動態増減数	企画振興課	統計	-248人(H27推計値)	-139人 (H27国勢調査)	-54人
	婚活・結婚応援イベント参加者数	企画振興課	担当課調査	-	125人(累計)	200人(累計)
	地域子育て支援センター利用者数(年間)	子育て支援課	担当課調査	21,993人(H26)	21,882人	23,030人
	ファミリーサポートセンター利用件数	子育て支援課	担当課調査	48件(H26)	249件	53件

	指標名称	担当課	取得方法	基準値 (策定時)	H30.3現在 (H29年度実績)	目標値 (平成31年度)
3	三世帯住宅リフォーム補助申請件数	企画振興課	担当課調査	-	10件	10件
	積極的に育児をしている父親の割合	健康づくり推進課	担当課調査	-	57.1%	55.0%
	安心して子どもを産み、育てられると感じている市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	57.1%(H26)	【参考】64.4%(H30)	67.10%
	学校に行くのは楽しいと思う小中学生の割合(小6・中3)	総務学務課	担当課調査	小学生:84.3%(H26) 中学生:82.3%(H26)	小学生:87.0% 中学生:82.4%	小学生:87.0% 中学生:82.3%
	図書館入館者数	社会教育課	担当課調査	-	158,847人	171,600人
	スポーツ施設年間利用者数	社会教育課	担当課調査	139,244人	151,123人	146,206人
4	今後も瀬戸内市に住み続けたいと思う市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	86.9%(H26)	【参考】84.5%(H30)	90.0%
	計画的に土地利用が進められていると思う市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	27.2%(H26)	【参考】30.7%(H30)	37.2%
	公共交通機関が利用しやすいと思う市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	22.5%(H26)	【参考】24.7%(H30)	32.5%
	下水道普及率	下水道課	担当課調査	38.9%(H26)	41.5%	44.7%
	供用開始区域の水洗化率	下水道課	担当課調査	68.9%(H26)	74.2%	76.3%
	住みやすいと感じる市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	57.9%(H26)	【参考】78.7%(H30)	67.9%
	いつでも安心して医療サービスを受けられると感じる市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	50.4%(H26)	【参考】57.2%(H30)	60.4%
	協働提案事業数	企画振興課	担当課調査	-	5件	10件(年間)
	地域コミュニティ活動に参加している市民の割合	企画振興課	市民まちづくり意識調査	44.9%(H26)	【参考】49.3%(H30)	54.9%
	地域おこし協力隊員数	企画振興課	担当課調査	3人(H26)	10人(累計)	15人(累計)
連携中枢都市圏による連携事業数	企画振興課	担当課調査	-	17件	10件	